

授業科目 公衆衛生学			科目コード番号	
【担当教員名】 遠藤 和男	対象学年	2	対象学科	理学・言語・社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15
【概要及び学習目標】				
<p>&lt;概略&gt;</p> <p>国家試験の科目に公衆衛生学が指定されているのは、本学の関係では管理栄養士のみである。したがって健康栄養学科では30時間で、必修となっている。一方他学科では選択であり、半分の15時間であるため、要点だけを学習することになる。なお、医療統計学及び同演習とも関係はあるものの、重複して学習する心配はない。</p> <p>&lt;学習目標&gt;</p> <p>一般目標：医療に関係する職種として、また健康な生活を送る一般人として、生活習慣病の予防方法を修得し、QOLサポーターとして指導できる。</p> <p>行動目標：1. 公衆衛生の定義を説明できる。 2. 疾病の予防として一次から三次予防を区別できる。 3. 現在の健康状態からみて、健康的な生活について自己の目標を設定できる。</p>				
回数	学習の主題	学習内容		学習方法
1	公衆衛生の定義と歴史	公衆衛生及びWHOの健康についての定義と公衆衛生の歴史を学ぶ。		講義
2	生活環境と環境保健	物理的、化学的及び生物学的な環境要因について学ぶ。		同上
3	公害の種類と公害病	7つの公害と公害によって引き起こされる疾患及びその対策を学ぶ。		同上
4	疾患の自然史と三角モデル	疾患の自然史と一次から三次の予防方法、感染症の三角モデルを学ぶ。		同上
5	生活習慣病と健康管理	がん、心臓病、脳卒中、糖尿病について集団健診と健康管理を学ぶ。		同上
6	母子保健と学校保健	少子化の中でエンジェルプランの取り組みや学校保健の問題点を学ぶ。		同上
7	産業保健と労働衛生	代表的な職業病や職場における安全・衛生の取り組みについて学ぶ。		同上
【評価方法】 試験期間中に簡単な筆記試験を実施する。				
【履修上の留意点】 ・疫学など、教科書で触れなかった部分は、後半の医療統計学で学習する。 ・医療統計学が必修の理学療法及び言語聴覚学科は選択した方が良い。				
【使用図書】				
教科書・参考書等	書名等	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	シンプル衛生公衆衛生学第9版	久道茂、鈴木庄亮編	南江堂	2001年、¥2400+税 毎年改訂版が出る
参考書				
その他 (プリント等)	毎回レジュメを配布する予定である。			